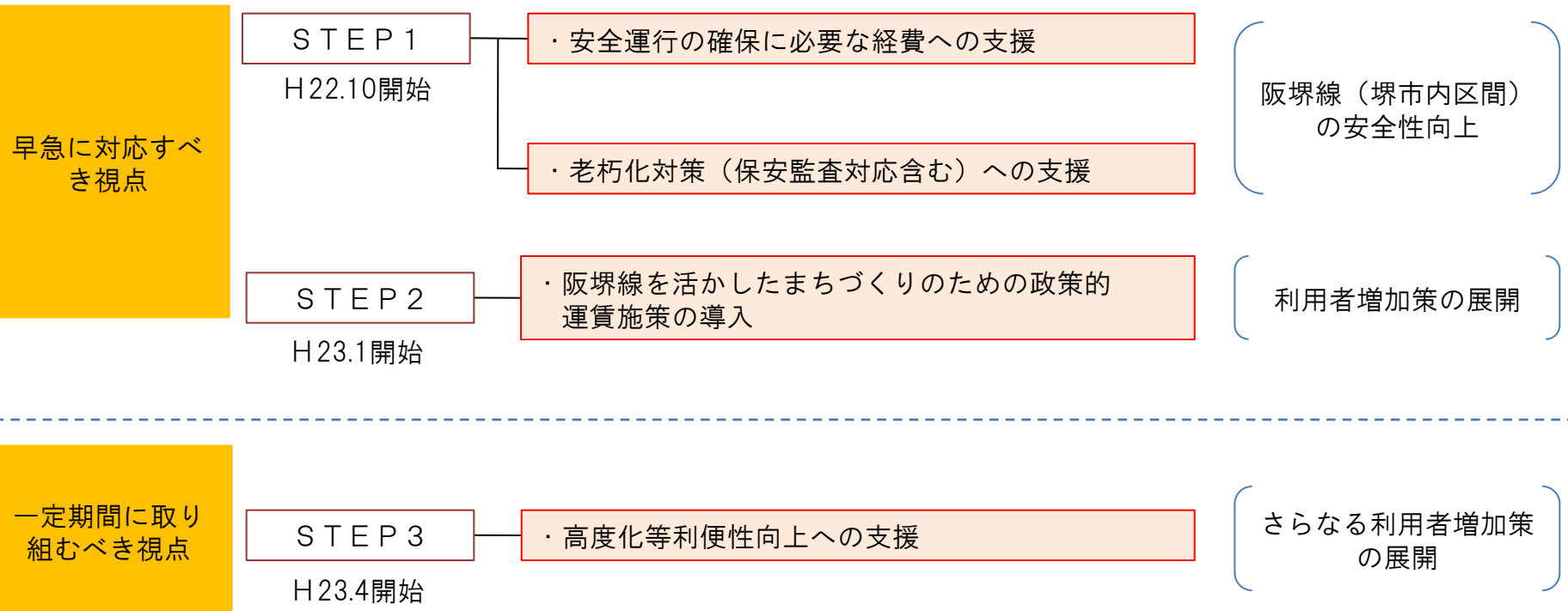


阪堺線（堺市内区間）の 支援策について

■ 阪堺線（堺市内区間）の支援策

- 阪堺線（堺市内区間）の存続に向けて、市民意見や専門家のWGでの意見等を踏まえ支援策を決定
- 支援策は、喫緊の課題に対応する支援と、利用者を増加させるための支援を行う

《支援内容》



■支援策前（H22年）に募集した市民提案による活性化策の取組状況

項目		進捗状況
利用者増加	運賃政策（1区間運賃化、高齢者割引等）	H23年1月～ 運賃均一化・高齢者運賃割引を実施 H24年3・4月 期間限定で同伴小学生無料キャンペーン実施
	バスとの乗継利便の向上	H23年3月～ 堺おもてなしチケット（ゾーンチケット）発売 H25年3月～ 阪堺線との乗継バス停留所整備（花田口停留場付近）
	パークアンドライド、 サイクルアンドライド	H24年3月 サイクル&ライド無料駐輪場設置（妙国寺前駐輪場） コミュニティサイクルポート設置（堺伝統産業会館） H27年3月 パークアンドライド設置（さかい利晶の杜） コミュニティサイクルポート設置（さかい利晶の杜）
高度化による利便性の向上	低床式車両の導入	H24年度 低床式車両の整備 低床式車両のネーミング公募（堺トラム） H25年8月 低床式車両運行開始（我孫子道～浜寺駅前間） H26年3月 低床式車両2編成目運行開始 低床式車両2編成天王寺駅前～浜寺駅前間の営業運行開始 H27年春 低床式車両3編成目運行開始 低床式車両の位置情報を配信
	ICカードの導入	H26年4月 スルッとKANSAI IC決済サービス「PiTaPa」（ピタパ）を導入
	電車優先信号等	H23年度～ 定時性・速達性を高める手段を検討
	停留場の増設、施設改善（バリアフリー化等）	H23年 停留場の新設について候補箇所の絞り込みを実施 御陵前停留場の美装化実施 H24年3月 停留場ナンバリング開始 H26年度 停留場新設予定 H27年秋 宿院停留場改修予定

阪堺線の再生・活性化に向けた取組み

項目		進捗状況
営業支援他	イベントとの連携、ツアーの誘致	H23年1月～ 福助電車等の各種イベント・ツアーを実施 沿線イベント等にて阪堺グッズ販売を実施 H23年7月 震災被災者向けのチン電ツアー開催 H23年12月 阪堺線開通（恵美須町～大小路）100周年記念イベント実施 H24年4月 阪堺線開通（全線）100周年記念イベント実施 H25年7・8月 堺トラム試乗会を実施 H25年8月 堺トラム営業運行開始セレモニー実施 H26年2月 堺トラム2編成目完成お披露目会実施
	メディア活用によるPR	H23年1月～ 広報番組や広報誌等によるPRを実施 H23年10月 東京・さかい交流会において阪堺線PR H23年11月 阪堺・南海まちあるき「歩の歩のマップ」発行 H23年12月 低床式車両のデザイン公募 H24年5月 低床式車両のネーミング公募（堺トラム） H24年11月 全国路面電車サミットを開催 H25年8月 低床式車両運行開始（我孫子道～浜寺駅前間） H26年3月 低床式車両2編成天王寺駅前～浜寺駅前間の営業運行開始
	商業、観光施設との連携	H23年3月 堺おもてなしチケットにて37施設等との連携を実施 H23年6月 レトロ車両の復元 H24年3月 停留場への観光施設の案内地図を設置 H24年11月 堺おもてなしチケットの協力店舗、販売店舗の拡大を実施 H25年3月 天王寺駅前停留場への観光施設の案内地図を設置
	キャラクター・グッズの活用	H23年6月 新キャラクター「ちん電くん」を作成、グッズを開発 H23年11月 ちん電くんの沿線幼稚園訪問 ちん電くんの観光部長就任セレモニー実施 H25年度 低床式車両のグッズ販売
市民協働	ボランティア、市民・行政・事業者の継続的な連携を図る仕組み	H23年8月～ 未来へつなごう！堺チン電の会（事務局を堺市移管） H24年11月 全国路面電車サミットを開催 H25年11月 堺ちん電フェスティバル2013を開催 H26年11月 堺ちん電フェスティバル2014を開催

・年間2億円を上限に利用者拡大策と運行継続に必要な経常的経費に支援を行う

1. 利用者拡大策への支援

(1) ゾーンチケットへの支援

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実績額	487千円	454千円	317千円

(2) 高齢者利用割引への支援

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実績額	9,395千円	12,029千円	27,811千円

(3) 堺市内・大阪市内区間の均一運賃化への支援

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実績額	64,212千円	63,265千円	66,718千円

2. 運行の継続に必要な経費への支援

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実績額	120,000千円	120,000千円	100,000千円

・10年間で30億円を高度化による利便性の向上と老朽化に伴う施設の改修に対する経費に支援を行う

1. 高度化による利便性の向上

(1) 低床式車両の導入

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実績額	10,020千円（設計費）	234,000千円	249,600千円
（国補助）	-	81,333千円	83,200千円
（市補助）	-	152,667千円	166,400千円

(2) 停留場の増設、機能改善

	平成24年度	平成25年度
実績額	18,478千円	30,715千円

(3) ICカードの導入

	平成25年度
実績額	161,335千円
（国補助）	52,900千円
（市補助）	108,435千円

2. 老朽化対策

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実績額	152,069千円	181,411千円	90,174千円
（国補助）	45,418千円	59,617千円	30,058千円
（市補助）	106,651千円	121,794千円	60,116千円